

須知高校生のみなさんへ

令和3年度 第2学期始業式 式辞

みなさん、おはようございます。1学期の終業式では、映画監督の田中光敏さんの「本気なら言葉に出して言いましょ」という言葉を紹介しましたが、夏休み期間中、みなさんは、そのことが実行できましたでしょうか。夏休み中は、三者面談、補習や進学講習、学習合宿、農業クラブ行事、部活動などで忙しかったと思いますが、家族の方と自分の将来について話し合い、自分自身を振り返る有意義な時間を確保できましたでしょうか。

さて、この夏休みには、東京オリンピックが開催されました。コロナ禍での開催の是非については様々な議論があり、無観客での開催となりましたが、予定通りの日程で開催され、現在もパラリンピックが開催されています。一方で、新型コロナウイルス感染症の状況については、変異ウイルスであるデルタ株の流行により、京都府においても4度目の緊急事態宣言が発令され、府立学校での感染も8月下旬から急増している状況から、京都府教育委員会から部活動や学校行事等について制限するよう通知がありました。生徒の皆さんには「マスクの着用」、「手洗い」、「うがい」の励行をはじめ、手指消毒など基本的な感染防止の徹底に努め、「感染しない」、「感染させない」という危機感を持って生活を送るようにしてください。

1学期の始業式では、競泳の池江璃花子さんの「自分が本当にこうなりたいと思えば、そういう風に運命は変わってくると思う」という言葉を紹介しました。「できる」、「できない」ではなく、「自分は将来、こうなりたい」という強い気持ちがあれば、周りの方々もその気持ちに対して支援してくれるようになり、理想から現実へと近づき、運命も変わってくると思います。そのためには、自分がこうなりたいという強い信念を持って日々の学校生活を送り、自分の将来のために努力して欲しいと思います。努力した結果がすぐに表れず、くじけそうになることもあると思いますが、そんなときは、家族をはじめ、友人や学校の先生方にも相談し、軌道修正等もしながら努力を継続していきましょう。プロサッカーの三浦知良さんも「勝負事には運は必要だが、それ以上に大切なのは毎日努力を続けることだ。コツコツとやってきたことが、実って結果となる。その積み重ねが運をも呼び込む」と話しておられます。みなさんも将来の進路に向けて、毎日コツコツと努力できることを継続してください。得意な分野をより一層伸ばすことでも良いし、苦手な分野を克服することでも良いと思います。学習面でも生活面でも良いので、今日から始めてください。すでに取り組んでいる人は諦めず継続してください。

結びに当たり、みなさんの将来の夢が実現することを祈って、2学期始業式の式辞とします。

令和3年8月30日

須知高校 校長 湯川 佳秀